

作成日：2019 年 11 月 18 日

【半側空間無視の評価と動作についての研究】に対するご協力をお願い

研究代表者氏名 尾崎新平
所属 関西電力病院 リハビリテーション部
首都大学東京大学院(東京都立大学) 博士後期課程
職名 理学療法士

このたび、下記の医学系研究を、関西電力病院・倫理審査委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究は実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を当院の研究代表者までお申し出下さいませようお願いいたします。

1. 対象となる方

西暦 2015 年 4 月 1 日より 2022 年 3 月 31 日までに、脳卒中後(右半球損傷)の治療のため関西電力病院の 17 階回復期リハビリテーション病棟入院し、リハビリテーションを受けた方と受ける方です。ただし、除外基準は重度の意識障害 (JCS 100 以上) や認知症がある方(MMSE 12 点以下)、失語症のある方、検査データに欠損がある場合とします。

2. 研究課題名

承認番号 19-088

研究課題名 半側空間無視の評価と動作についての研究

3. 研究実施機関

関西電力病院

共同研究機関

首都大学東京大学院(東京都立大学)	健康福祉学部	教授	網本和
倉敷リハビリテーション病院	リハビリテーション部	理学療法士	田邊淳平
関西医療大学	保健医療学部	助教	吉弘奈央

4. 本研究の目的、意義、方法

1) 目的

脳卒中後に起こる半側空間無視は、左の物に接触する症状が起こり日常生活動作の自立を阻害します。半側空間無視の病態は、主に左側の注意障害ですが、近年では多様、複雑性が指摘されています。検出には多くの机上検査や、刺激に対する反応時間を合わせて検査が必要です。私たちは、半側空間無視の病態解釈の進歩を目的に、多くの検査データを解析します。

2) 意義

半側空間無視の多様、複雑性がある病態解釈は、リハビリテーションの効果的な治療を提案することができ、日常生活動作の改善に貢献できると考えています。

3) 方法

入院中のカルテ情報をもとに、半側空間無視の検査データを抽出します。検査データについては紙とペンを用いた既存の机上検査、日常動作の観察評価、パーソナルコンピュータで反応時間課題の検査結果を検証します。検査データは学会、論文として関西電力病院、首都大学東京大学院(東京都立大学)の所属で発表します。

5. 本研究の実施期間

承認日～2022 年 3 月 31 日

6. 個人情報について

発表にあたり、患者さんのプライバシーを保護し、個人情報が特定されないよう十分配慮します。具体的な内容は下記です。

- ・氏名は一切記載しません。
- ・年齢・性別は、〇〇歳、男性・女性と記載する場合があります。
- ・日付は、〇〇年と大まかな記載や、X年Y月と符合を用いた表示をします。

7. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、下記へご連絡をお願いいたします。

研究代表者 関西電力病院 リハビリテーション部 理学療法士 尾崎新平
電話番号 06-6458-5821 (内線 4195-65)